

(提案書 様式①-1 アイデア審査・最終審査)



協働の機会提案書(新規提案用)

令和6(2024)年6月20日

(あて先) 印西市長

(登録者) 登録番号 06-002

名 称 印西子どもの文化連絡会

所在地 印西市木刈

代表者 中村 隆子

連絡先

E-mail Inzai.kbr@gmail.com

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

☒自由提案型 ☐指定テーマ型

提案事業名	市民に愛され親しまれる印西市立図書館をめざす事業
現状・課題 (指定テーマ型の場合 はテーマ名のみ記入)	印西市立図書館は現在、市内各駅圏に配置された6館体制で運営されているが、過去26年間新規司書職員の採用がないまま恒常的な人材不足に陥っている。職員・スタッフはルーティンワークに追われ、新規事業企画やサービス向上のための研修参加もむずかしい現状にあると聞く。 2023年2月には今後10年間の運営の指針となる図書館サービス計画が策定され、3月には印西市立図書館に指定管理者制度は導入せず直営で運営していくことが決定された。人口11万人を超えてますます発展する印西市に見合った文化と教育を担う図書館の市民サービス向上に、市民の期待が寄せられている。
提案理由	直営で運営される図書館の公共性、多様性、独自性を十分に活かし、図書館サービス計画に基づき運営されるこれからの印西市立図書館が、市民にとってより利用しやすく親しみやすい図書館になることをめざして、連携・協働して運営する事業を提案する。 印西子どもの文化連絡会がこれまで実施してきた講演会やイベントのノウハウや全国レベルのネットワークを活かして、図書館が様々な年代の市民のニーズに応じてサービスを提供するために、市と市民が協力しあっていくことが大切だと考える。

提案内容 (予算の概算は提案書 様式①－４)	大森図書館と小林図書館の30周年、小倉台図書館改修後のリニューアルオープンなどの機会をきっかけにして、図書館と連携・協働することにより、新しいイベント実施やより柔軟なアイデアを取り入れて、図書館の持つポテンシャルを広く市民に知らせることをねらいとする。また、印西子どもの文化連絡会の全市的な活動や所属団体の各地域における読書推進活動などを広く市民に知ってもらうための事業にしたい。 具体的な内容としては、次に挙げる3つの事業を提案する。 必要経費約100万円の見込み(無償労働力・無償機材等含む) ① 親子向け講演会(またはワークショップ) ・絵本作家鈴木まもる氏の「鳥の巣のふしぎ」講演会 ・令和6年6月に印西子どもの文化連絡会所属の団体(木刈親子読書会)が講演会を主催したところ、小学生親子の関心が高く定員を上回る参加者があり、再開催を望む声が多く寄せられた。 ・子どもも大人も里山に囲まれた印西市の自然や生きものに興味を持つ、鳥の巣を通して子育てする親の気持ちに共感するなどの効果も期待できる。 ② 一般(大人)向け講演会 ・酒井邦嘉氏の「AI時代の子どもたちと読書」講演会 ・現在注目が集まるAIについて脳科学や言語学の見地から、AIが子どもたちの脳の発達に及ぼす影響や、紙の本を手にとって読むという読書の大切さなどについて話を聞くことができる。 ③ 複製絵画展覧会と絵本の展示 ・印西市が所蔵している複製絵画の紹介とそれにまつわる絵本や本を関連づけて紹介する展示を通して、印西市のユニークな図書資料を市民に知らせることができる。 ＊ ①②の講演会について添付資料あり
貴団体の特性、協働 で実施するメリット (提案者が事業実施できる能力や有利なアピールポイント)	・印西子どもの文化連絡会が継続してきた子どもたちへの読み聞かせや年代に応じた本の選定などの読書推進活動や、これまでの講演会開催のノウハウを活用しつつ、全国的な組織(親子読書地域文庫全国連絡会、図書館友の会全国連絡会等)との繋がりを活かして、絵本作家、児童文学作家、専門家などを講演会の講師として招聘できる。 ・図書館との連携を図り役割を分担することにより、市民の「知る権利」に応じて提供する図書館運営の充実に協力することができる。 ・公共で運営される図書館(「いつでも どこでも だれでも」が無料で利用できる図書館)の意義と良さに気づく市民が増えて、図書館が文化と教育の拠点として大切にされ、市民が自分ごととして参画するまちづくりが進むことを望んでいる。

事業実施により 得られる効果 (自由提案型は今後の 展望も記入)	・ 印西市の図書館が持つポテンシャルを再検証し、図書館が備える社会的意義を市民にアピールすることによって、単に利便性を高めるだけでなく「知の宝庫」としての図書館のイメージを確立していくことができる。 ・ 市民生活の質を高め、教育・学習、文化の創造を推進して、「子どもたちの心を育む印西市」を実現していくことによって、市民が本当の住みよさを実感して暮らし続けられるようになる。 【SDG4:質の高い教育をみんなに、SDG11:住み続けられるまちづくりを】 ・ 市民に愛され親しまれる図書館づくりを協働して進めていくことにより、どの年代の市民にとっても図書館が居場所となり、仲間づくりや情報発信の拠点となっていくことができる。 ・ 令和7年度以降、複合施設内の印旛図書館、本埜図書館や、単独館の小倉台図書館の改修により複数館が閉館期間中になっても、継続して新しい事業を実施していくことにより、市民の図書館への関心を維持することができる。 ・ 2年目以降の事業提案としては、親と子の絵本講座、図書館ミニコンサート、民話絵本から知る「印西の今昔」など、他団体とのコラボも含めてアイデアを検討している。
---	--

(提案書 様式①-4 アイデア審査)

概 算 予 算 書

無償分を含む総事業費 (金 1, 0 3 7, 2 0 0 円)

うち市に負担を求める額 (委託費) 金 8 0 6, 0 0 0 円

【歳入】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額		806,000
提案者が負担する額	保険料、使用料、通信費	26,000
その他収入		0
無償分を含めない合計額		832,000
無償労働力等換算金額	労働力 205,200 円	(205,200)
無償分を含む総事業費		(1, 037, 200)

【歳出】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
人件費	講演会当日の保育スタッフ(①) 3,000 円×2 人=6,000 円	6,000
報償費	①講演会講師謝礼(親子向け) 300,000 円 ②講演会講師謝礼(一般向け) 300,000 円	600,000
旅費	講師交通費(①②) 10,000 円×2 人=20,000 円 講師宿泊費(①②) 10,000 円×2 人=20,000 円	40,000
印刷製本費	周知チラシ作成(①②) 20 円×1,000 部×2 回=40,000 円 周知ポスター作成(①②) 300 円×100 部×2 回=60,000 円 講演会プログラム・資料作成(①②) 200 円×150 部×2 回=60,000 円	160,000
保険料	傷害保険(参加者・スタッフ) 1,000 円×2 回=2,000 円	2,000
使用料	会場使用料・機材使用料 7,000 円×2 回=14,000 円	14,000
通信費・送料等	電話/fax、宅配便送料、郵送料	10,000

無償分を含めない合計額		832,000
提案者が負担する 無償労働力(A)	1,026 円×1 時間×10 人×20 日=205,200 円 (事業準備／調整)	(205,200)
提案者が負担する 無償機材等(B)		(0)
無償労働力等換算金額	(A) + (B)	(205, 200)
無償分を含む総事業費		(1, 037, 200)

※上記金額は、提案内容を示す概算予算書です。アイデア審査通過後、提案書様式③にて
詳細を提出頂き、最終審査で選定されます。

※歳出の項目例は29頁を参照してください

(提案書 様式①-1 アイデア審査・最終審査)



協働の機会提案書 (新規提案用)

R6年 6月 18日

(あて先) 印西市長

(登録者) 登録番号 06 - 003
 名 称 アトリエわお！
 所在地 印西市戸神1037-6
 代表者 江口あゆみ
 連絡先 090-3591-7226
 E-mail weekendplacut@gmail.com

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

☒ 提案型 ☐ 指定テーマ型

提案事業名	アトリエリスタ保育園・幼稚園等訪問事業「アトリエしようよ！」
現状・課題 (指定テーマ型の場 合はテーマ名のみ記 入)	アトリエわお！は「アートを介して感性や表現力を養い、個性豊かな子どもを育む」を活動目標とし、地域の子どもたちへ造形アトリエやワークショップなどを展開している。アトリエには、工作や絵画が好きで得意な子が通っているが、そうでない子がアートや造形表現に触れる機会は保育園や幼稚園等だけに留まる。 ここ数年、幼稚園や保育現場で保育活動に携わるなかで、保育士等が担う役割や領域が非常に広いことに気がついた。また造形表現活動の際には、保育士等からその実施内容について専門的な意見を求められることもある。保育所保育指針に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」のうち「豊かな感性と表現」の領域を実践していくには、家庭や社会のニーズが多様化している昨今、保育士等にとって非常に負担が大きいことである。 印西市においては、地域との連携や協働を通じて教育力を高めることが課題となっており、さらに子育てプランの基本目標3「個性豊かな子どもを育む教育の充実」のもと、就学前の幼児期における教育の充実が求められている。ここ数年、公立中学校や高等学校の部活動地域移行が推進されている現状もあり、今後ますます専門分野に長けた地域住民の協力が必要になってくるだろう。

提案理由	印西市内の保育施設・幼児教育施設に通う多くの子どもたちが、日常でアートに触れ、心ゆくまで素材や事象に関われる豊かな時間があってほしい。そのためには、芸術分野（美術・デザイン、造形や身体表現、音楽等）をバックグラウンドとする表現の専門家や外部のアーティストが連携し、保育士等と共に協働することで子どもたちの感性を育む活動を提供する。その活動内容における子どもの姿は日々記録され、保育士等と共有することで子ども一人一人の豊かな感性を養っていく。
提案内容 (予算の概算は提案書様式①-4)	年間を通じてアトリエリスタと称した芸術の専門家4名を外部講師や内部講師として招き、市内公立園（5保育園・1幼稚園）へ派遣。月に2回ほど保育活動へ参加、うち数回ほど芸術活動（アトリエ）を実施する。外部講師も招くことで、表現の幅が広がり園のニーズに寄り添った活動となるだろう。 必要経費は450万（5保育園・1幼稚園）
貴団体の特性、協働で実施するメリット (提案者が事業実施できる能力や有利なアピールポイント)	私たちアトリエわお！は「わくわく、おどろき、みてみて！の気持ちを大切に、子どもの表現に寄り添うアトリエ」として、2019年より印西市内で造形教室やワークショップを開催、フリースクールびおねろの森ではまちの先生として子どもたちにアートの時間を提供してきた実績がある。団体会員は、芸術やデザイン、表現に長けた人材が多く、印西市内外で保育関係の経験を有するものもいる為、市の担当課と芸術の専門家（アトリエリスタ）のあいだの調整を潤滑に進め易いだろう。さらに、昨年よりインザクリエイターズハブというコミュニティを立ち上げ、地域のクリエイターと連携をとっている。令和6年度は、印西市公益信託まちづくりファンドの助成金を活用し、保育課と学務課と園と協議しながら「アトリエしようよ！」の実施へ向けて進めている最中である。
事業実施により得られる効果 (自由提案型は今後の展望も記入)	・子どもたちの創造性、表現の幅が広がる ・保育士等の負担軽減（感性と表現の領域を補う） ・幼児期における教育の充実 ・特色のある印西の保育として子育て世帯へPR ・市内在住のアーティストたちが本事業を通じて連携する

(提案書 様式①-4 アイデア審査)

概算予算書

無償分を含む総事業費 (金 4,497,138 円)

うち市に負担を求める額 (委託費) 金 3,892,946 円

【歳入】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額	講師報酬費、人件費、材料費など	3,892,946
提案者が負担する額 ※	保険料 10,000円×4名、講師交通費 43,200円	83,200
その他収入		0
無償分を含めない合計額		3,976,146
無償労働力等換算金額	A:労働力 196,992円 B:機材等 324,000円	(520,992)
無償分を含む総事業費		(4,497,138)

【歳出】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
人件費	講師保育補助等	743,040
	プログラム作成費、企画費、事前準備、資料作成	590,976
報償費	外部講師	960,000
	内部講師	360,000
消耗品費	アート活動 材料費	720,000
旅費	外部講師交通費 (電車)	216,000
	外部講師交通費 (駅からタクシー利用)	144,000
	外部講師交通費 (自家用車)	43,200
	内部講師交通費 (自家用車) (※)	43,200
印刷製本費	アート活動実施報告書類作成	17,280
	アトリエしようよ! 事業報告書 (デザイン・データ作成・入稿)	50,000
	アトリエしようよ! 事業報告書 (印刷)	48,450
保険料	保険 (※)	40,000
無償分を含めない合計額		3,976,146
提案者が負担する 無償労働力 (A)	1,026円×4時間×2人×2日×12ヶ月 = 196,992円	(196,992)
提案者が負担する 無償機材等 (B)	通信費 12ヶ月×500円×4人 = 24,000円 車両 2,000円×4人×36日 = 288,000円 機材 (カメラ・PC) 1,000円×12ヶ月 = 12,000円	(324,000)
無償労働力等換算金額	(A) + (B)	(520,992)
無償分を含む総事業費		(4,497,138)

歳入

項目	積算根拠	内容、数量、単価など	見積もり金額	備考
市に負担を求める額	人件費、報償費、消耗品費、旅費、印刷製本費		¥3,892,946	
提案者が負担する額	内部講師交通費、保険料		¥83,200	
その他収入			¥0	
無償分を含めない額			¥3,976,146	
無償労働力等換算金額		A: 労働力 196,992円 B: 機材等 324,000円	¥520,992	
無償分を含む総事業費			¥4,497,138	

歳出

人件費	講師（保育補助等）	1,290円 x 4h x 月2日 x 12ヶ月 x 6園	¥743,040	印西市会計年度任用職員（保育補助・無資格）賃金より算出
	プログラム作成費、企画費、事前準備、資料作成	1,026円 x 4h x 月6日 x 12ヶ月 x 2名	¥590,976	受託に令和6年千葉県最低賃金より算出
報償費	外部講師（アート活動）	1回20,000円 x 12ヶ月 x 4園	¥960,000	2名各2園or4名各1園 実働3時間程度
	内部講師（アート活動）	1回15,000円 x 12ヶ月 x 2園	¥360,000	1名2園or2名各1園 実働3時間程度
消耗品費	アート活動 材料費	10,000円 x 12ヶ月 x 6園	¥720,000	絵の具、紙など消耗品
旅費	外部講師交通費（電車）	3,000円 x 36日 x 2人	¥216,000	都内より北総鉄道など利用
	外部講師交通費（駅からタクシー利用）	2000円 x 36日 x 2人	¥144,000	千葉NT中央駅等よりタクシー往復利用
	外部講師交通費（自家用車）	600円 x 36日 x 2人	¥43,200	印西市内往復ガソリン代
	内部講師交通費（自家用車）	600円 x 36日 x 2人	¥43,200	印西市内往復ガソリン代
印刷製本費	アート活動実施報告書類作成	60円 x 2枚 x 2部 x 12ヶ月	¥17,280	A4カラー2枚セブンイレブンプリント
	アトリエしようよ！事業報告書（デザイン・データ制作・入稿）	24頁 x 100部	¥50,000	アトリエわお！or外部委託
	アトリエしようよ！事業報告書（印刷）	24頁 x 100部	¥48,450	株）グラフィック
保険料	保険	年間10,000円 x 4名	¥40,000	フリーランス協会（損害賠償保険）
無償A	打ち合わせ	1,026円 x 4h x 2日 x 12ヶ月 x 2名	¥196,992	内部外部講師との打合せ（令和6年千葉県最低賃金より算出）
無償B	通信費	12ヶ月 x 500円 x 4名	¥24,000	通話及びメール送受信における通信費
	車両	2,000円 x 4人 x 36日	¥288,000	訪問及び材料等運搬用
	機材（カメラ・PC）	1000円 x 12ヶ月	¥12,000	写真撮影、資料作成及びメール等PC
無償分を含む総事業費			¥4,497,138	

アトリエわお！

(提案書 様式①-1 アイデア審査・最終審査)



協働の機会提案書(新規提案用)

令和6年 6月 17日

(あて先) 印西市長

板倉正直 殿

(登録者) 登録番号 04-001
 名称 ベジガールズ 全世代に向けた運動支援
 所在地 印西市西の原 [REDACTED]
 代表者 飯田 渚
 連絡先 [REDACTED]

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

☒自由提案型 ☐指定テーマ型

提案事業名	3～5歳って何が大切！？我が子のために出来る事って何だろう？ わんぱく・おてんばキッズ事業
現状・課題 (指定テーマ型の場合 はテーマ名のみ記入)	発達障害やグレーゾーンといわれる子が増加しており、印西市においても同様の状況がおきており、今後も増加傾向が予想されます。 その子たちの特性として以下の点があげられます。 1、体幹が弱い為正しい姿勢が保てず、自己抑制の低下 2、集中力が続かない為落ち着きがない 3、偏食傾向が強い為、栄養不足による身体全体の機能の低下 4、睡眠障害を合併し、不登校になりやすい グレーゾーンと呼ばれている子供の増加傾向の原因として、我が子の発達の遅れに気がついていない場合や、また共働き、シングル家庭のため、親が子育てに必要な情報を得る時間が持てない事が要因の一つであると考えています。 育児に対しての困りごとや、必要な栄養・運動・睡眠に関する問題を解決する知識を学ぶ場があり、正しい知識を知り、日常生活に取り入れていく必要があります。
提案理由	発達障害やグレーゾーンといわれる子供を取り巻く状況は、子供の成長へ望ましいとは言えない状況が続いており、そのためには親子で、又は家庭で取り組める子育てのヒント・手段が必要となります。 親子で医療用のバランスボールを体験し、体幹チェックを行なうこと

	で、体幹の強弱を知り、バランスボールを使うことで、体幹を強化し、それによって集中力を高め、内臓機能の向上や質のいい睡眠を取れることを知ってもらい、取り入れてもらいたいです。 また、幼児期の発達に関して、姿勢・運動・栄養・口腔の4大テーマを、専門家からの情報を踏まえ、家でも出来る取り組み方法を知ってもらい日々の暮らしに役立ててもらえるようにしていきたいです。 バランスボールがきっかけとなり、グレーゾーンといわれるお子さんの健全な発達と過程の負担軽減が少しでも解消できるよう力添えをしていきたいです。
提案内容 (予算の概算は提案書様式①～④)	月一回、4ヶ月の連続講座を年2回実施します 事前予約制をとり、参加枠は各15組とします。 親子でのバランスボール体験をおこなうとともに、①運動・②姿勢・③栄養・④口腔についての専門家の講座を通して、日々の取り組みへの重要性を理解出来るよう伝えていきます。その際親が集中して話が聞けるよう、講座中は保育士が子供を預かり、手遊び、制作などをしながら待てる環境を用意します。
貴団体の特性、協働で実施するメリット (提案者が事業実施できる能力や有利なアピールポイント)	ベジガールズには様々な有資格者が在籍しており、その専門性の知識を生かし、子育てに必要な情報をバランスボールを介して楽しく伝えることが出来ます。子育て方法の一つとしてとらえてもらい、親子の問題の解決の糸口をつかんでもらいたいと思います。 この事業を広げていくことで、グレーゾーンのため療育までたどり着けない親子に対して楽しいイベントを通して、気づきと、行政への相談の一步を踏み出すきっかけを作れると思います。 ※団体のこれまでの活動詳細につきましては別紙をご参照下さい。
事業実施により得られる効果 (自由提案型は今後の展望も記入)	バランスボールを通して親子で楽しく運動しながらコミュニケーションを深め、また日常生活に必要な正しい知識を得ることで、子供の発達や健康によい影響を与えることができます。 令和6年度、印西市における対象年齢の3～5歳児は4000人を超えています。 今後の展望として年30組の対象では少ないので、次年度は午後の部も設け年間60組を対象に、3年目は開催日を増やし120組の親子を対象として周知を拡大していきたいと思います。

(提案書 様式①-4 アイデア審査)

概 算 予 算 書

無償分を含む総事業費 (金 997.234 円)

うち市に負担を求める額 (委託費) 金 689.920 円

【歳入】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額		689.920
提案者が負担する額	保険料	5250
その他収入		
無償分を含めない合計額		695.170
無償労働力等換算金額	労働力 147.744 円 機材等 154.320 円	(302.064)
無償分を含む総事業費		(997.234)

【歳出】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
人件費	講座プログラム代・サポート代・保育料 8回・50.000/回	400.000
報償費	外部講師指導謝礼 2回・1人・15.000/回 内部講師指導謝礼 6回・3人・12.000/回	102.000
使用料	会場使用料 8回・2310/回	18.480
体験大人用バランスボール	6.696 円×15 個	100.440
マット	8000 円×2 枚	16.000
ペープサート	4000 円×1セット	講座時 4.000
エプロンシアター	9000 円×1セット	保育用 9.000
各講座材料費	250 円×15 セット×8 回	30.000
印刷製本費	周知チラシ作成 50 円・200 部	10.000
保険料	団体保険 5250円	5250
無償分を含めない合計額		701.170
提案者が負担する 無償労働力(A)	1026 円×2時間×6人×12日=147.744 円	(147.744)
提案者が負担する 無償機材等(B)	ポンプ 9.460 円×2 台・子供用ボール 5.720 円×15 個 スピーカー代 17.600 円	(154.320)

	車輦 市内 500円×4台×8回=16.000円 市外1000円×2台×8回=16.000円	
無償労働力等換算金額	(A) + (B)	(302.064)
無償分を含む総事業費		(997.234)

※上記金額は、提案内容を示す概算予算書です。アイデア審査通過後、提案書様式③にて詳細を提出頂き、最終審査で選定されます。

※歳出の項目例は29頁を参照してください

(提案書 様式①-2 アイデア審査・最終審査)



協働の機会提案書(継続提案用)

令和 6年 6月 19日

(あて先) 印西市長

(登録者) 登録番号 20-001

名 称 NPO 法人 エコネットちば

所在地 印西市竹袋

代表者 理事長 齊藤 敏男

連絡先

E-mail

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

☐ 自由提案型
 ☒ 指定テーマ型

提案事業名	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業
現状・課題 (前年度の実施を踏 まえた課題)	協働事業に提案、継続した維持管理により環境が保全でき、植える花にも工夫して充実してきた。地域住民の憩い、癒し、そして健康増進の場として、地域住民に愛され利用されている。
提案理由	繰り返し訪れる人の多い竹袋調整池と周辺地域は、景観に恵まれ野鳥も飛来する自然豊かな憩いの場所です。印西市の花名所として市民はもとより隣接する地域の人々にも愛されている。この景観と環境を保つためには継続した維持管理が必要です。
提案内容	1. 花畑の整備・維持 2. 緑地の定期的な草刈 3. 随時のごみ清掃 4. 放流口の浮遊物除去 で、景観と快適な環境を維持します。
貴団体の特性、協働 で実施するメリット	エコネットちばは地元で活動する団体で、地域住民・学校・幼稚園や他市民活動団体と協力して、花畑づくりや地域まつり(コスモスまつり、芝桜まつり)を実施してきた。今後も行政と協働事業で維持管理することで、より良い癒し憩いの場を提供でき、地域の期待に応えられます。
継続実施により 得られる効果	・憩い・癒しの場の整備で、環境保全が継続でき、地域住民の健康増進にも寄与でき、地域コミュニティの交流の場を提供できる。

概 算 予 算 書

無償分を含む総事業費 (金 3,813,700円)

うち市に負担を求める額 (委託費) 金 3,094,000円

【歳入】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額		3,094,000
提案者が負担する額		45,500
その他収入		
無償分を含めない合計額		3,139,500
無償労働力等換算金額		(674,200)
無償分を含む総事業費		(3,813,700)

【歳出】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
作業費	草刈、耕運、施肥、消毒、苗植、種蒔、除草	2,854,000
賃借料	仮設トイレ	60,000
保険料	損害保険	180,000
無償分を含めない合計額		3,094,000
提案者が負担する 無償労働力(A)	1,050 円/人・時間×484 時間＝508,200 円	(508,200)
提案者が負担する 無償機材等(B)	刈払機 3,000 円/回×6 台×7 日＝126,000 円 管理機 4,000 円/回×2 台×5 日＝40,000 円	(166,000)
無償労働力等換算金額	(A) + (B)	(674,200)
無償分を含む総事業費		(3,813,700)

※上記金額は、提案内容を示す概算予算書です。アイデア審査通過後、提案書様式③にて
詳細を提出頂き、最終審査で選定されます。

※歳出の項目例は29頁を参照してください

(提案書 様式①-1)

継続

協働の機会提案書(提案用)

令和6年6月10日

印西市長 板倉正直様

(登録者) 登録番号 04 - 007

名称 みんなのいっぽ

所在地 印西市西の原

代表者職氏名 伊藤 かおり 印

連絡先

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

指定テーマ型

提案事業名	グリーンカーテン大作戦！ 「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」
現状・課題 (指定テーマ型の場合はテーマ名のみ記入)	2050年カーボンニュートラルに向けた世界的な動きの中、印西市は今年ゼロカーボンシティ宣言をした。第三次印西市環境基本計画に基づき市民・事業者・行政が一体となり地球温暖化に向けた取組を推進することが急務となっている。 印西市環境白書によれば印西市民の79.6%が環境問題に関心があると答える一方で「どのような取り組みをすればいいのかわからない」という声が40%に上り、「環境事業を行っていることを知らない」と答えた市民は41%に上っている。このことから環境問題に対する市民の高い意識を活かして、市の環境事業の認知を広め、市民と一体となった環境活動を促進していく必要がある。 令和5年度より印西市との協働事業によるグリーンカーテン大作戦を実施し、様々なカタチで市民にグリーンカーテンを広めると共に、地球温暖化について関心を高めることができた。 原小学校では地球温暖化・環境問題の出前講座を行い、さらに総合学習の時間で自主学習として取り組み、授業参観で発表までを一連で行えたことで、子供たちさらには保護者の環境意識を高めることができた。 今後は学校での出前講座をより多くの学校で開催していきたい。 これまでの活動を通して市民のグリーンカーテンの苗を育てる技術についてはさらにサポートが必要であることがわかった。基本的な栽培技術や虫や病害に対する知識が足りず、枯らしてしまうケースが散見された。植物を栽培することを通して身近な自然の素晴らしさや自然環境とのつながりを感じてもらうためにも、栽培に関するフォローを強化していきたい。
提案理由)	市民アンケートによると32%の人が「環境事業に取り組む時間がない」と子と合え、235の人が「個人で取り組んでも効果がない」と答えている。このことから、環境意識があまり高く似あ市民にとってもグリーンカーテンの効果を実感すること、楽しんで参加できることがポイントであると言える。 提案内容は苗を配布するだけでなく、参加したくなるインセンティブ、栽培へのハードルを下げる栽培技術情報の提供、自然体験イベント・環境問題を楽しく学べる出前授業などを通しての効果や危機感の共有をすることに重点を置いている。 参加者が増えることで、グリーンカーテンの設置数も増え、市民の環境意識が見える化することで、参加していない市民にも環境活動を意識しても

	らうきっかけにつながると考えている。
提案内容 (前年度の実施を踏まえた改善内容)	グリーンカーテンの普及啓蒙・参加者を増やすには以下の3つの方法について取り組む必要がある。 1) より活動を広く周知するための発信方法としてSNSを活用する 2) 環境意識が低い市民の参加を促すため、設置者へのインセンティブになるようなコンテストへの参加特権を設ける 3) 公共施設へのグリーンカーテンの設置 4) 学校での出前事業 5) 印西市が取り組んでいる環境フェスタやクールシェアなどのイベント、また市民団体の主催するイベントなどに参加して、広く市民に参加機会をPRしていく。
貴団体の特性、協働で実施するメリット	・みんなのいっぽのメンバーには元小学生教師がおり、出前事業などの実施において学校関係者との調整や当日の授業も経験を活かして実施することができる。 ・苗の作成についても、農園経営者であるメンバーが技術・経験を活かして取り組んでいる。栽培のポイントや設置のコツなど市民が必要とする正しい栽培情報をSNSで適切に提供することができる。 ・これまで森のようちえんなど他の市民団体、イオンなどの商業施設とも協力しながら活動してきており、これまでの連携をベースに、苗の配布や普及啓蒙を行っていくことができる。
継続実施により得られる効果	・学校や市民イベントなど環境意識が高い・低いに関わらず様々な市民に普及啓蒙を行うことで、広く市民の環境意識を高めることができる。 ・公式ラインやインスタグラムなどのSNSの登録者を継続していくことができるので、1度参加した市民が、毎年参加しやすくなるように情報を提供することができる。

概算予算書

総事業費（無償分を含む） 金 1,743,892 円
 市から団体への委託費 （金 1,510,008 円）

【歳入】

項 目	積算根拠（内容・数量・単価など）	見積り金額(円)
市に負担を求める額		1,510,008
その他収入		
提案者負担分		
無償労働力等換算金額	労働力192,384円 機材費41,500円	(233,884)
合 計（無償分を含めない）		1,510,008円
無償分を含めた合計額		(1,743,892)

【歳出】 ※GC=グリーンカーテン

項 目	積算根拠（内容・数量・単価など）	見積り金額(円)
種代	ゴーヤ2L40,000円、ヘチマ1000粒11,000円、バタフライピー100粒1800円(送料1600円)、パッションフルーツ苗10個×5900円、ホップ苗各10個×800円	92,400
育苗	1000苗×140円	140,000
種配布用袋	種用の小袋1000枚53,060円×ラベルシール印刷1000枚(1枚1.8円)	54,860
種袋詰め	種袋詰め・ラベルはり作業1002円/h×2名×10h	20,040
公共機関への配布	市内5か所公共施設グリーンカーテン運搬・設置・管理サポート 1002円/h×2名×10h×5箇所=100,200円 運搬燃料10,000円 プランター、培土、ネット（5施設各20～30苗） 新規プランター2500円×20個、培土・追肥1500円×10個×5箇所、ネット1800円×5個×5か所	280,200
PR用品	PRパネル作成 A2パネル3枚4,500円 コンテスト募集用 A3ポスター 40枚 24,046円 GCチャレンジ・コンテスト募集チラシ 1000枚×30円/枚(カラー)=30,000円 デザイン作成 1002円/h×12h=12,024 持ち帰り用袋等備品 8,000円	78,570
PR・啓蒙普及 情報提供	質問対応・栽培情報・コンテスト情報発信 (Instagram画像編集、投稿作成、7か月運用) 1002円/h×1名×6h×7か月=42,084円 初心者向け取り付け・栽培・片付け方法情報発信 (youtube動画4本収録編集) 1002円/h×2名×10h/1本×3本=78,720円	120,048
GCコンテスト募集・開	公式ライン運用7か月システム料	196,084

催	5,000円/月×7ヵ月=35,000円 エルメッセージ運用5ヵ月システム料 10,780/月×4ヵ月=53,900円 ※配信数に応じて料金変動するため有料機関が5ヵ月と試算 システム構築・運用・募集・集計 1,002円×1名×10h/1ヵ月×8ヵ月間=80,160円 景品購入1000円相当×10名、5000円相当×1名、 合計 15000円 郵送手続き1002円/h×2名×6h =12024	
教育施設配布	小学校出前講座3回（1学年200人程度） 前日・当日にかかる人件費 1002円×12h×3回×4名=144,288 授業プラン作成および打ち合わせ 1002円×5h×3回=15,030 備品購入・資料作成・苗運搬費用 新規プランター2500円×8個、培土・追肥1500円 ×12袋、ネット1800円×12枚、備品10,000×3	248,918
市民配布	環境フェスタ、大型商業施設イベント等3回 1002円×10時間×3名=30,060円 備品・材料費 15,000×3回 夏休み自由研究サポート・農園イベントでのチラシ・ 種・苗配布および育て方ガイダンス各2h×6回 1002円/h×2名×2h×6回	99,108
公共施設での設置維持管理	学校、支所、市営施設でのグリーンカーテンの設置 および管理 新規プランター2500円×8個、培土・追肥1500円 ×12袋、ネット1800円×12枚、備品10,000×3 1002円/h×3名×6h×5日	179,780
提案者が負担する 無償労働力	全体の配布プラン作成 1002円×2名×3日×12h=72,144円 集合住宅等でのチラシ設置場所確保・設置依頼 1002円×3名×2日×6h=36,072円 公共施設・事業者への事前連絡 1002円×2名×10h=20,040円 チラシデザイン・苗タグデザイン打ち合わせ 1002円×2名×8h×4日=64,128円	(192,384 円)
提案者が負担する 無償機材等	苗運搬用軽トラ 5日×5500円/1日=27,500円 撮影用カメラ機器 7日×2000円/1日=14000	(41,500)
合 計（無償分を含めない）	125672	1,384,336円
無償分を含めた合計額		(1,618,220)

(提案書 様式①-1)

アイデア審査・最終審査)



(あて先) 印西市長

協働の機会提案書(新規提案用)

2024年6月21日

(登録者) 登録番号 06-004
 名称 一般社団法人SODO
 所在地 印西市小林
 代表者 鈴木 広美
 連絡先
 E-mail suzuki.hiromi34@gmail.com

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

☐ 自由提案型 ☒ 指定テーマ型	
提案事業名	里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業
現状・課題 (指定テーマ型の場合は テーマ名のみ記入)	—
提案理由	■背景 近年、「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」いわゆる<u>ネイチャーポジティブの取り組み推進</u>が国際目標となり、我が国においても、生物多様性国家戦略に反映されるとともに、自然共生サイトの認定などの関連施策が進められています。また、ビジネス分野においては、<u>多くの企業が、自然環境の回復への貢献ができる選択肢を模索</u>しています。 ■印西市の自然(里山)環境の保全・活用の意義 印西市は、ニュータウン開発等により人口が増加し、また、多くの企業による活動が展開される一方で、<u>市街地近郊に豊かな里山環境(台地上の草原・畑、樹林、湧水、水田、谷津等)が残されている稀有な地域</u>です。これらの里山環境は、生物多様性のみならず、<u>防災・減災、水循環、水質浄化、ウェルビーイング(幸福)の向上</u>など、自然環境の有する多面的な機能を活かした「<u>グリーンインフラ</u>」として、複合的な地域課題の解決にも寄与します。 ■印西市の自然(里山)環境の保全・活用に係る活動の現状 市内には、これらの里山の自然を守る市民活動団体が複数存在し、活動が展開されているとともに、大学・研究機関によりグリーンインフラ機能についての研究も進められています。

	■協議会の設置を提案する理由 <u>自然環境の保全に関心のある企業、市民団体、研究者、行政がそれぞれの強みを発揮し、市民団体間の連携を深めるなど各主体が有機的な連携を図ること</u>で、印西市の里山環境を良好に保ち、グリーンインフラとして持続的に活用する仕組みを構築できれば、<u>地域住民や企業が豊かな自然環境の恵みを享受し続けることに大きく寄与</u>することが期待できます。 そこで、市と市民団体の協働により、里山の保全と活用に向けた検討・議論・情報共有等を行う協議会を設置することを提案します。
提案内容 (予算の概算は提案書様式①－４)	１)目標 印西市内で活動する里山保全活動団体や市民、関心のある企業など、多種多様な主体の連携を図り、印西市の里山における、「生物多様性」、「水循環」等のグリーンインフラ機能の保全・活用に向けた管理体制を構築し、地域活性化に資する。 ２)対象とする里山(対象地) 印西市が所有もしくは管理する里山的環境(台地上の草原・畑、樹林、湧水、水田、谷津等)を有する土地を対象とします。 ３)協議会の設置・開催 市と市民団体との協働により、多様な主体が参画する協議会を設置します。協議会では、印西市の里山環境の現状把握、管理目標、管理体制等について検討・議論・調整するとともに、企業を含む多様な主体との新たな連携に向けたアクションについて議論します。 ①協議会の体制 発足当初は以下のメンバーを想定するものとし、事業開始後、協議会発足時に運営規則等を定め、規程に則り、必要に応じて追加するものとします。 【当初メンバー(案)】 印西市:環境保全課、都市整備課、市民活動推進課、市民活動推進センター 市民活動団体:NPO 法人亀成川を愛する会、NPO 法人谷田武西の原っぱと森の会、NPO 法人ラーバン千葉ネットワーク、一社 SODO(事務局) 研究機関:国立環境研究所 ②協議会の開催頻度 １ヶ月に１回程度の開催頻度を想定しています。 ③協議会の開催場所 印西市役所内の会議室での開催を想定しています。

4)協議会での取組内容(案)

当初想定する取組内容は以下の通りとし、協議会での検討・議論等を踏まえて、適宜見直しや追加をしていきます。

①対象地(市所有・管理地)の現況把握(リスト・マップ作成等)

- ・ 印西市が所有または管理する土地(緑地、公園等取組対象となり得る土地)の現状(自然環境の状況、管理状況等)の把握・整理(リスト化、マップ化等)

②里山保全活動団体等の現況把握

- ・ 印西市内で里山の保全活動等の活動を行っている市民団体等の現状(団体概要、活動内容等)の把握・整理(リスト化等)
- ・ 活動における課題、連携要望等の把握

③対象地における事業計画の検討

- ・ 既に市民活動団体等による維持管理が行われている対象地における新たな取組の検討
- ・ 市民活動団体等による維持管理が行われていない対象地における維持管理内容、体制の検討
- ・ OECM[※]登録に係る検討(モニタリング計画の立案、申請書類の作成等)

※OECM:生物多様性の価値があり、事業者、地域、行政等による様々な取組によって、生物多様性の保全が図られている区域(国立公園など、既に保護されている区域を除く)

④多様な主体の連携に係る検討

- ・ 市民活動団体間の連携(市有地以外で活動している団体も含む)、市民活動団体と企業、地域内外の住民等との連携の促進に係る検討

⑤協議会の継続的な運営のあり方の検討

- ・ 次年度以降の運営のあり方に係る検討

⇒本事業で設置する協議会は今後も継続的・発展的に運営されることが望ましいと考えています。そこで、協働事業終了後の継続も含めて、今後の運営体制、メンバー、取組内容等について、検討を行っていく予定です。

⑥事業の広報

- ・ HP 等での事業の広報

⇒事業で作成したマップや資料、協議会での議論の結果等について、HP[※]等で市民や企業に事業内容や事業成果をオープンに情報発信することにより、印西市の里山環境の保全・再生やグリーンインフラとしての持続的な利活用の重要性等の意識啓発や、取組への参加促進を図る。

※提案者の保有する HP 等での情報発信を想定していますが、協議会での議論を踏まえて、検討・実施する予定です。

貴団体の特性、協働で実施するメリット
(提案者が事業実施できる能力や有利なアピールポイント)

■継続的な里山保全活動実績

共同提案者のうち NPO 法人3者(亀成川を愛する会、谷田武西の原っぱと森の会、ラーバン千葉ネットワーク)は、市の保有・管理地を含む印西市内の里山保全活動を長年に渡って実践してきており、里山の現状や、今後の保全・活用における課題等について熟知しています。また、市内外の関連団体や企業、地域の方々との良好な関係を維持しており、事業を円滑に進めることができます。

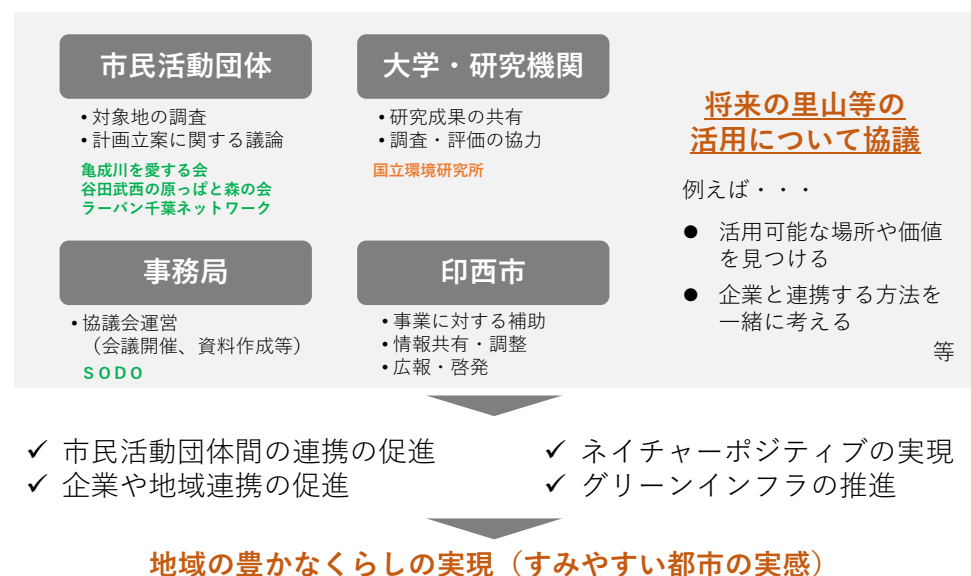
■グリーンインフラの地域実装等に関する最先端の知見・ネットワーク

協議会での取組の推進体制には、グリーンインフラ・ネイチャーポジティブ及びその地域実装分野における我が国最先端の研究機関である国立環境研究所の協力を得られることとなっています。そのため、印西市におけるグリーンインフラの推進、ネイチャーポジティブの実現を図るにあたって、技術的支援や、最新の研究事例・国の動向等についての情報提供を受けることができます。また、国立環境研究所は、様々な研究機関や行政、企業等との連携により、北総地域での里山保全・活用の取組を先導しており、様々な地域主体とのネットワークを有していることから、事業を効果的に進めることができます。

■地域のグリーンインフラ分野に精通した協議会運営

共同提案者のうち一般社団法人SODO(協議会事務局担当)は、北総地域を中心とする千葉県内において、「生態系を賢く活かした豊かな地域づくりを推進する」ために設立された中間支援団体であり、地域の状況、行政の上位・関連計画など、本事業を進める上で必要となる情報に精通しています。また、市内外の関連団体や行政機関、企業等とのネットワークを有しており、事業を円滑に進めることができます。

■協議会の運営体制



事業実施により
得られる効果
(自由提案型は今後の
展望も記入)

■事業実施により得られる主な効果

本事業の実施により、以下に挙げるようなことが実現できます。

本事業で直接的に実現できること	結果として実現が期待されること
・協議会の設立(市民・事業者・行政の協働による里山の保全・活用の仕組みづくり) ・里山の保全・活用に係る市民活動団体間の連携促進 ・里山の保全・活用に係る地域、企業の連携促進 ・連携によって保全・維持されている里山(市有地)の OECM※登録 ・印西市内の里山(市所有・管理地)の現状把握 ・HPを通じた情報発信による市民・企業への広報、意識啓発、参加促進	・里山の保全・活用の推進 ・生物多様性の保全 ・グリーンインフラの推進 ・ネイチャーポジティブの推進 ・カーボンニュートラルへの貢献 ・地域の豊かな暮らしの実現 ・市民団体間の連携促進 (多様な主体の交流の場の創出)

※OECM:生物多様性の価値があり、事業者、地域、行政等による様々な取組によって、生物多様性の保全が図られている区域(国立公園など、既に保護されている区域を除く)

■関連する印西市の施策

本事業は印西市の進める施策と広範にかかわりがあり、以下に例示するような施策の実現に寄与することができます。

①印西市総合計画(自然との共生の実現)

②第3次印西市環境基本計画(樹林地・斜面林の保全、いきものの生息・生育空間の把握、多様な生態系の保全、水辺環境の保全、自然と調和したまちづくり、環境に配慮したまちづくりの推進、環境学習の場と機会の創出、各主体における環境配慮行動の推進、各主体間の連携促進、重点的な取組1:自然の力を活かそう!グリーンインフラ大作戦!)

③印西市緑の基本計画(樹林地の維持管理の仕組みの充実、樹林地の保全、耕作放棄地の活用、水辺環境の保全、健全な水循環の保全、河川の水質改善、生物の生息・生育空間の保全、緑あふれる景観の保全、緑地保全・緑化推進団体の育成、自然環境の活用、市民参加による管理・運営の推進、市民による樹林地の保全・活用制度の創設、協働による里山の調査・保全、緑に関する情報発信)

■今後の展望

上記「提案内容」にも記した通り、本事業で設置する協議会は今後も継続的・発展的に運営されることが望ましいと考えています。

そこで、協働事業終了後も協議会や協議会で実施した検討の継続が実現できるよう、将来の運営体制、メンバー、取組内容等について、検討を行います。

共同提案者名簿一覧

(登録者) 登録番号 05-002

名称 NPO法人亀成川を愛する会
所在地 印西市木刈
代表者職氏名 理事長 小山 尚子
連絡先

(登録者) 登録番号 21-002

名称 特定非営利活動法人ラーバン千葉ネットワーク
所在地 印西市木下
代表者職氏名 理事長 丹澤 正直
連絡先

(登録者) 登録番号 23-003

名称 特定非営利活動法人谷田武西の原っぱと森の会
所在地 印西市小倉台
代表者職氏名 理事長 矢野 真理
連絡先

(登録者) 登録番号

名称
所在地
代表者職氏名
連絡先

※記入箇所が足りない場合は適宜追加してください。

(提案書 様式①－４ アイデア審査)

概 算 予 算 書

無償分を含む総事業費 (金 2, 8 5 0, 1 2 0 円)

うち市に負担を求める額 (委託費) 金 1, 4 1 0, 0 0 0 円

【歳入】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額	人件費(技術的検討に係る部分)	1,410,000
提案者が負担する額	交通費、印刷費	135,000
その他収入		0
無償分を含めない合計額		1,545,000
無償労働力等換算金額	人件費(協議会の開催に係る部分) 交通費(提案者以外が負担する額)	(1,305,120)
無償分を含む総事業費		(2, 850, 120)

【歳出】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
人件費	①対象地の現況把握(リスト・マップ化等) ※GISを用いたマップの作成等 15 人日×23,500 円※単価 1	352,000
	②里山保全活動団体の現況把握 ※専門的視点からの現況整理、課題の抽出 5 人日×23,500 円※単価 1	117,500
	③対象地における事業計画の検討 ③-1 新たな取組、維持管理内容・体制の検討 ※専門的視点からの検討 10 人日×23,500 円※単価 1	235,000
	③-2 OECM 登録に係る検討 ※市保有・管理地の OECM 登録申請に必要な情報整理、モニタリング計画策定、申請書類作成 15 人日×23,500 円※単価 1	352,500

項 目	積算根拠（内容・数量・単価など）	見積り金額(円)
人件費	④多様な主体の連携に係る検討 ※専門的視点からの検討、ヒアリングの実施等 5 人日×23,500 円※単価 1	117,500
	⑥事業の広報 ※情報発信資料の作成、HP を通じた情報提供 10 人日×23,500 円※単価 1	235,000
旅費交通費	協議会参加交通費(市民活動団体) 5 人×12 回×500 円※市内自動車移動のガソリン代を想定 現地踏査交通費(市民活動団体) 2 人×3 団体×5 回×500 円※同上	45,000
印刷製本費	会議資料の印刷 15 部×12 回×500 円	90,000
無償分を含めない合計額		1,545,000
提案者が負担する 無償労働力(A)	①協議会の運営(協議会資料の作成、記録作成) 2 人日×12 回×23,500 円※単価 1	(564,000)
	②協議会の出席 ●市民活動団体 5 人×12 回×2 時間×3,800 円※単価 2 ●国立環境研究所 2 人×12 回×2 時間×4,900 円※単価 3	(691,200)
提案者が負担する 無償機材等(B)	協議会参加交通費(国立環境研究所) 2 人×12 回×2,080 円※国環研～木下往復(公共交通機関)を想定	(49,920)
無償労働力等換算金額	(A) + (B)	(1, 305, 120)
無償分を含む総事業費		(2, 850, 120)

※上記金額は、提案内容を示す**概算予算書**です。アイデア審査通過後、提案書様式③にて詳細を提出頂き、最終審査で選定されます。

■単価の設定根拠

1) 専門技術を要する作業の単価（単価 1）

以下に挙げる専門技術を要する作業については、国土交通省設計業務委託等技術者単価（コンサルタント単価）の最低ランクの技術者単価（技術員）の 70%相当額の単価を採用

- ・GIS等専門ツールを用いた作業（マップの作成等）
- ・本事業を推進する上で必要となる専門的スキルを要する作業

令和 6 年度国土交通省設計業務委託等技術者単価

①設計業務

技術者の職種	基準日額(円)	割増対象賃金比(%)
主任技術者	80,200	55%
理事、技師長	75,800	55%
主任技師	64,800	55%
技師(A)	57,000	55%
技師(B)	47,200	55%
技師(C)	38,400	55%
技術員	33,600	55%

単価 1 : $33,600 \text{ 円} \times 70\% = 23,520 \text{ 円}$
 $\Rightarrow 23,500 \text{ 円}$
 ※100 円単位未満切り捨て

(3) 設計業務等技術者

職種区分定義

- ① 主任技術者：先例が少なく、特殊な工法や解析を伴う極めて高度あるいは専門的な業務を指導統括する能力を有する技術者。
工学以外に社会、経済、環境等の多方面な分野にも精通し、総合的な判断力により業務を指導、統括する能力を有する技術者。
工学や解析手法の新規開発業務を指導、統括する能力を有する技術者。
- ② 理事・技師長：複数の非定型業務を統括し、極めて高度で複合的な業務のプロジェクトマネージャーを務める技術者。
- ③ 主任技師：定型業務に精通し部下を指導して複数の業務を担当する。また、非定型業務を指導し最重要部分を担当する。
- ④ 技師(A)：一般的な定型業務に精通するとともに高度な定型業務を複数担当する。また、上司の指導のもとに非定型業務を担当する。
- ⑤ 技師(B)：一般的な定型業務を複数担当する。また、上司の包括的指示のもとに高度な定型業務を担当する。
- ⑥ 技師(C)：上司の包括的指示のもとに一般的な定型業務を担当する。また、上司の指導のもとに高度な定型業務を担当する。
- ⑦ 技術員：上司の指導のもとに一般的な定型業務の一部を担当する。また、補助員を指導して基礎的資料を作成する。

なお、職種区分定義で示されている定型業務、非定型業務については下記を参考に判断するものとする。

- 定型業務
- ・調査項目、調査方法等が指定されており、作業量、所要工期等も明確な業務
 - ・参考となる類似業務があり、それらをベースに応用することが可能な比較的簡易な業務
 - ・設計条件、計画諸元の設定等が比較的容易で、立地条件や社会条件により業務遂行が大きく作用されない業務
- 非定型業務
- ・調査項目、調査方法等が未定で、コンサルタントとしての経験から最適な業務計画、設計手法等を確立して対応することが求められる業務
 - ・比較検討のウエイトが高く、かつ新技術または高度技術と豊かな経験を要する大規模かつ重要構造物の設計業務
 - ・文化性、芸術性が特に重視される業務
 - ・先例が少ないか、実験解析、特殊な観測・診断等を要する業務
 - ・委員会運営や関係機関との調整等を要する業務
 - ・計画から設計まで一貫した業務

※本事業の実際の担当予定技術者は、主任技師相当～技師 B 相当の技術者となります。

2) 会議への参加（単価 2, 単価 3）

「謝金の標準支払基準」の改定について、平成 27 年 3 月 6 日、各府省等申合せを参考として単価を設定するものとし、区分 6（地方支分部局が開催する一般的なもの）を採用、1 回あたりの会議を 2 時間と想定

- ・ NPO 法人：幹事・専門委員の単価を採用 ⇒ 単価 2
- ・ 国立環境研究所：委員・臨時委員の単価を採用 ⇒ 単価 3

第 2 支払基準

1. 会議出席謝金支払基準

懇談会等行政運営上の会合（以下「会合」という。）への出席に対する会議出席謝金の日額及び時間単価は、原則として別表 1 の標準単価を適用する。

会合の主催者や影響度等を考慮し、別表 1 の備考を参考として、依頼する職名ごとに別表 1 の職名に対応する標準単価の中から適宜単価を選択する。

ただし、職名によらず一律の単価を設定する会合にあつては、別表 1 の標準単価の中から、適宜（日額と時間単価は区別する）単価を選択する。

【別表 1】

単価 3

単価 2

(単位：円)

職名別 単価 区分	標準単価					
	会長		委員（会員）・臨時委員		幹事・専門委員	
	日額	時間単価	日額	時間単価	日額	時間単価
①	22,700	11,300	19,600	9,800	17,700	8,800
②	20,500	10,200	17,700	8,800	15,700	7,800
③	18,400	9,200	16,100	8,000	13,700	6,800
④	16,400	8,200	14,000	7,000	11,700	5,800
⑤	14,400	7,200	12,000	6,000	9,700	4,800
⑥	12,300	6,100	9,900	4,900	7,600	3,800
⑦	10,300	5,100	7,900	3,900	5,600	2,800

(備考)

- 区分①は、中央府省等が開催する会合で最も上位とすることが適当としたもの。
- 区分②は、中央府省等が開催する会合で上位とすることが適当としたもの。
- 区分③は、中央府省等が開催する会合で一般的なもの（大規模）。
- 区分④は、中央府省等が開催する会合で一般的なもの（中規模）、又は地方支分部局が開催する会合で最も上位とすることが適当としたもの。
- 区分⑤は、中央府省等が開催する会合で一般的なもの（小規模）、又は地方支分部局が開催する会合で上位とすることが適当としたもの。
- 区分⑥は、中央府省等が開催する会合で下位とすることが適当としたもの、又は地方支分部局が開催する会合で一般的なもの。
- 区分⑦は、他の区分より下位とすることが適当としたもの。

(提案書 様式①-1 アイデア審査・最終審査)

協働の機会提案書 (新規提案用)

2024年 6 月 20 日

(あて先) 印西市長



(登録者) 登録番号 06 -001
名 称 印西市市民公益活動団体
Shake Hands
所在地 印西市草深 [REDACTED]
代表者 齋藤 ちぐれ
連絡先 [REDACTED]
E-mail shakehands.inzai@gmail.com

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

☐ 自由提案型☒ 指定テーマ型

提案事業名	#私たちの保健室～みんなで繋がり合える印西市を目指して～
現状・課題 (指定テーマ型の場合はテーマ名のみ記入)	男女共同参画に関わる啓発事業の実施
提案理由	Shake Handsは「子どもと保護者のどうしようを解決するお手伝いをする」 団体です。 ・生理がある全ての子どもたちに快適な日常生活を提供 ・思春期の子どもたちの生理にまつわる不安・疑問を解消 ・生理の仕組みや正しい生理用品の知識習得 ・親子関係の再構築支援 ・女性特有の健康意識向上 これらの性(生)教育を通じて男女平等及び多様性を尊重し自他の心身・生命を大切にできる子どもを育てることを大切に活動してきました。 この活動内容は今回の指定テーマと重なる部分も多く、私たちの活動実績をもって、広く市民の皆様に男女共同参画の推進を図れると感じたため。
提案内容 (予算の概算は提案書様式①-4)	①初めての生理セット配布 初潮を迎える小学校5年生～中学校3年生に家庭ではなかなか購入に至らない、価格以外の機能性や、品質にこだわった生理用品を配布し、家庭での月経にまつわる話をするきっかけを作る。 ②性教育出張講座 学校ごとに合わせたオーダーメイドの性教育授業 ア) 修学旅行前性教育授業 ・生理のしくみ講話と実験、生理用品の使い方(女子児童のみ) 男女ともに生理の仕組みについて吸水実験などを行いながら学ぶことで、怪我をしたときの出血量との違いや、生理中に苦しんでいる人にどのように接すれば良いのかを考える機会をつくり、修学旅行という保護者がいない環境下においても慌てずお互い助け合えることができる イ) 思春期の心と体についての授業 ・思春期における心と体のアップデート、生理のしくみ講話と実験(男女児童) ・生理用品の種類と使い方(女子児童のみ) 思春期に個人差があるものの一同に学ぶことで、すでに起きている変化、これから起きる変化に柔軟に対応していける知識を身につける。 中学生になると制服の下に体操服を着て、学校生活を過ごすことが多くなるため、その状態で生理用品をどのように使っていくかを学ぶ機会を作る。 自宅で親の購入した生理用品が自分の体にあっていないものかを改めて考える機会をつくる。

	ウ) 保護者向け性教育講座 ・生理とリプロダクティブヘルス・ライツについて 性教育に男女差のあった親世代にむけて、今の子どもたちをとりまく現状を知る機械の提供 ・生理用品の吸水実験・様々な生理用品を知り、心と体を大切に子どもへの性教育についての講話 実際に吸水量を目視することで、自身の生理に向き合う時間をつくり、子どもとの違いがあることを知るきっかけとする。新しい生理用品を紹介することで、知識のアップデートと親子でも体に合う生理用品が異なる場合もあることを知る機会とする。 エ) 支援学級親子向け ・BOX型ナプキン製作と生理についてのお話会 生理用品と向き合いながら、親から子へ伝えたいメッセージを書いたり、気分が上がるイラストを書いたりすることで、生理について考える時間を作り大切に想い合うつながりと、自分を守る知識を身につけていく。 ③啓発イベント企画運営 ア) ①オリジナルアロマクリームの製作60分20人 生理のときの気分を和らげたり、自分を労するためのアロマ講座 ア) ②オリジナルボックス型ナプキン製作60分10人 生理用品と向き合いながら、生理について考える時間を作り大切に想い合うつながりと、自分を守る知識を身につけていく。 ア) ③絵本の読み聞かせと性教育絵本の紹介60分20名 年齢に応じた適切な性教育の本の選び方のアドバイス イ) 映画「うまれる」上映会300分20名 まるで自宅のリビングにいるようなリラックスできる環境でやさしい子どもと一緒にいのちのうまれる瞬間を捉えたドキュメンタリー映画をのんびり鑑賞できる機会をつくる。 ウ) イオン啓発イベント（講師なし）◎1回実施 お買い物ついでに立ち寄れる場所で、老若男女どなたにもリプロダクティブヘルス/ライツにまつわる知識を得る機会を作る。 エ) イオン啓発イベント講師2名◎1回実施 ウ) の内容に加えて、講師に分子栄養学の専門家による思春期に特にとりたい栄養の話や、理学療法士による経血コントロール、腓筋トレーニングの話を気軽に聞ける場とする。 ④個別相談の日 各種イベントや、講座に参加した人が、もっと話をききたい、相談に乗ってほしいとの要望に応じて月1回の開催をし、継続的な支援が必要な場合は行政につなげていく。
貴団体の特性、協働で実施するメリット（提案者が事業実施できる能力や有利なアピールポイント）	・保護者・同性・当事者の目線で子どもの真のニーズを掴みます。 ・ 全員が小中高生の保護者であり、多種多様な社会貢献活動に従事し、豊富な知識と専門スキルを持っています。 ・ PTA、保教会本部役員（2018～2024） ・ 子育て支援員 ・ 認知症サポーター ・ 民生委員・児童委員 ・ ピアヘルパー ・ 幼児体育初級公認指導員 ・ おもちゃインストラクター ・ こども環境管理士2級 ・ 幼稚園教諭 ・ 保育士 ・ 特別支援学校教諭 ・ 社会福祉主事 ・ インクルーシブ保育・教育支援士 ・ 体験活動セイフティリーダー（ASL） ・ 子どもの救急法国際資格（EFR-CFC） ・ 体験活動セイフティマネージャー（ASM） ・ 准学校心理士 ・ 高等学校教諭一種免許 ・戦略～企画～運用までワンストップで対応します。
事業実施により得られる効果（自由提案型は今後の展望も記入）	・ 印西市では転入者が増え、核家族世帯が多いため、イベントを通して、近隣との関わる機会を設ける ・ 現在は、団体メンバーの子どもが所属していたり、PTAや保教会でのつながりによる学校や、希望者を集めた小規模での開催が多かった。市の協働事業として動くことで、より多くの学校や市内の場所での啓発活動が可能となる。 ・ これまで行ってきた活動の来場者アンケートの中に、母娘で参加したが次回機会があれば父子も一緒に参加したいなど、今後の開催を期待する声が多く届き、そういった声に答えるべく誰でも参加し易い形を団体として常に考えてきた。月経にまつわる話を女性の話と限定することなく、『命』をテーマの根幹において性教育講座をすることで、男女が互いに人権を尊重し、性別関係なく一人ひとりが持っている個性や能力を十分に発揮できる地域社会づくりへの効果が期待できる。

概 算 予 算 書

無償分を含む総事業費	(金 1,594,934 円)
うち市に負担を求める額 (委託費)	<u>金 1,323,308 円</u>

【歳入】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
市に負担を求める額		1,323,308
提案者が負担する額	保険料、通信費	19,000
その他収入		0
無償分を含めない合計額		1,342,308
無償労働力等換算金額	労働力 242,136 円／ガソリン代等 10,530 円	(252,626)
無償分を含む総事業費		(1,594,934)

【歳出】

項 目	積算根拠 (内容・数量・単価など)	見積り金額(円)
人件費	※別紙参照	316,008
報償費	※別紙参照	257,000
旅費	外部講師交通費 1 回×2 人×¥3,000/回	6,000
印刷製本費	※s 別紙参照	79,800
保険料	傷害保険 10 名×¥100/人	1,000
使用料	会場使用料 2 回×22,000/回 映画放映料 1 回×27,000/年	71,000
通信費	電話 12ヶ月×1,500	18,000
消耗品費	※別紙参照	593,500
無償分を含めない合計額		1,342,308
提案者が負担する 無償労働力(A)	1,026 円×236h=242,136 円 (事業の準備・調整)	(242,136)
提案者が負担する 無償機材等(B)	運搬費	(10,490)
無償労働力等換算金額	(A) + (B)	(252,626)
無償分を含む総事業費		(1,594,934)

番号 品目		①初めての生理セット配布 ②性教育出張講座 ③啓発イベント企画運営 ④個別相談（月1回）				計		
1	人件費	講座及びプログラム作成	34884	12312	207252	61560	316008	
2	報償費	外部講師謝礼・団体内講師謝礼	34000	12000	151000	60000	257000	
3	旅費	外部講師交通費	0	0	6000	0	6000	
4	印刷製本費	チラシ・ポスター・講座プログラム	9000	8000	58800	4000	79800	
5	保険料	傷害保険	*	*	*	*	1000	年間まとめる（10人分）
6	使用料	会場使用料	0	0	71000	0	71000	
7	通信費	電話・FAX	*	*	*	*	18000	年間まとめる（¥1500/月×12ヶ月）
8	消耗品費	文具・インク・用紙	270000	120000	198000	5500	593500	
9 無償分を含めない合計額			347,884	152,312	692,052	131,060	1342308	
10 提案者が負担する無償労働力（A）事業の準備・調整			26676	32832	108756	73872	242136	
11 提案者が負担する無償機材等（B）ガソリン代			1520	840	7910	220	10490	
12 無償労働力等換算金額			28196	33672	116666	74092	252626	
13 無償分を含む総事業費			404276	219,656	808,718	205,152	1594934	

番号	品目	初めての生理セット配布	単価	数量	単位	計	備考
1	人件費	講座及びプログラム作成	1026	34	h	34884	個包装作業（1800分＝1セット個包装作業2分で計測）＋POP作成（180分）＋シール作成（60分）
2	報償費	外部講師謝礼・団体内講師謝礼	1000	34	h	34000	役員報酬＝¥1000/h
3	旅費	外部講師交通費	0			0	
4	印刷製本費	チラシ・ポスター・講座プログラム	10	900	部	9000	*プログラム制作@10×900名
5	保険料	傷害保険	0	0		0	年間まとめる
6	使用料	会場使用料	0			0	
7	通信費	電話・FAX	0	0		0	年間まとめる
8	消耗品費	文具・インク・用紙・生理用品	300	900	人	270000	(下着・ナプキン装着体験セット)@300円×900名6校・5～6年女子児童)＝270,000円
9	無償分を含めない合計額					347884	
10	提案者が負担する無償労働力（A）	事業の準備・調整	1026	26	h	26676	デザイン制作8h、資料制作8h、企画打合4h、進捗管理6h
11	提案者が負担する無償機材等（B）	ガソリン代	20	76	km	1520	牧の原小学校往復4km、小倉台小学校往復13km、本埜小学校往復3km、内野小学校往復10km、平賀小10km、大森小7km
12	無償労働力等換算金額					28196	
13	無償分を含む総事業費					404276	

番号品目	性教育出張講座	単価	数量	単位	計	備考
1 人件費	講座及びプログラム作成	1026	12	h	12312	人件費＝¥1026/h×2h×3人×2回実施
2 報償費	外部講師謝礼・団体内講師謝礼	1000	12	h	12000	役員報酬=¥1000/h×2h×3人×2回実施
3 旅費	外部講師交通費	0			0	
4 印刷製本費	チラシ・ポスター・講座プログラム	10	800	部	8000	*プログラム制作@10×800名
5 保険料	傷害保険	0			0	年間まとめる
6 使用料	会場使用料	0			0	
7 通信費	電話・FAX	0	0	式	0	年間まとめる
8 消耗品費	文具・インク・用紙・生理用品	150	800	人	120000	(実験用ナプキン3種)@150円×800名(2校・4～6年男女児童)＝120,000円
9 無償分を含めない合計額					152312	
10 提案者が負担する無償労働力（A）	事業の準備・調整	1026	32	h	32832	デザイン制作8h、資料制作8h、企画打合8h、進捗管理8h
11 提案者が負担する無償機材等（B）	ガソリン代	20	42	km	840	牧の原小学校往復4km、内野小学校往復10km、3人
12 無償労働力等換算金額					33672	
13 無償分を含む総事業費					219656	

③啓発イベント企画運営：アロマクリーム製作		単価	数量	単位	計	備考
番号	品目	60分20人				
1回実施＞牧の原交流センター						
1	人件費	講座及びプログラム作成	1026	9 h	9234	人件費＝ ¥1026/h×3h×3人
2	報償費	外部講師謝礼・団体内講師謝礼	14000	1 式	14000	役員報酬＝ ¥1000/h×3h×3人、内部講師¥5000×1人
3	旅費	外部講師交通費	0	0	0	
4	印刷製本費	チラシ・ポスター・講座プログラム	8000	1 式	8000	* チラシ制作@20×100、ポスター@300×20
5	保険料	傷害保険	0		0	年間まとめる
6	使用料	会場使用料	0	0	0	
7	通信費	電話・FAX	0	0	0	年間まとめる
8	消耗品費	文具・インク・用紙・生理用品	500	20 人	10000	アロマ材料費@500×20人
9 無償分を含めない合計額					41234	
10	提案者が負担する無償労働力（A）	事業の準備・調整	1026	14 h	14364	デザイン制作8h、企画打合4h、進捗管理2h
11	提案者が負担する無償機材等（B）	ガソリン代	20	16 km	320	牧の原交流センター往復4km×4人
12 無償労働力等換算金額					14684	
13 無償分を含む総事業費					55918	

		③啓発イベント企画運営：オリジナルデザインの			単価	数量	単位	計	備考
番号	品目	ボックス型ナプキン製作							
		60分10人							
		1回実施＞牧の原交流センター							
1	人件費	講座及びプログラム作成	1026	9	h		9234	人件費＝￥1026/h×3h×3人	
2	報償費	外部講師謝礼・団体内講師謝礼	1000	9	h		9000	役員報酬＝￥1000/h×3h×3人	
3	旅費	外部講師交通費	0	0			0		
4	印刷製本費	チラシ・ポスター・講座プログラム	8000	1	式		8000	* チラシ制作@20×100、ポスター@300×20	
5	保険料	傷害保険	0				0	年間まとめる	
6	使用料	会場使用料	0	0			0		
7	通信費	電話・FAX	0	0			0	年間まとめる	
8	消耗品費	文具・インク・用紙・生理用品	2000	1	式		2000	文具¥2000	
9 無償分を含めない合計額							28234		
10	提案者が負担する無償労働力（A）	事業の準備・調整	1026	14	h		14364	デザイン制作8h、企画打合4h、進捗管理2h	
11	提案者が負担する無償機材等（B）	ガソリン代	20	12	km		240	牧の原交流センター往復4km×3人	
12 無償労働力等換算金額							14604		
13 無償分を含む総事業費							42838		

番号 品目		③啓発イベント企画運営：絵本読み聞かせ 単価 数量 単位	計	備考	
		60分20名			
1	人件費	講座及びプログラム作成	1026 9 h	9234	人件費＝￥1026/h×3h×3人
2	報償費	外部講師謝礼・団体内講師謝礼	1000 9 h	9000	役員報酬＝￥1000/h×3h×3人
3	旅費	外部講師交通費	0 0	0	
4	印刷製本費	チラシ・ポスター・講座プログラム	8000 1 式	8000	*チラシ制作@20×100、ポスター@300×20
5	保険料	傷害保険	0	0	年間まとめる
6	使用料	会場使用料	0 0	0	
7	通信費	電話・FAX	0 0	0	年間まとめる
8	消耗品費	文具・インク・用紙・生理用品	2000 1 式	2000	文具¥2000
9 無償分を含めない合計額			28234		
10	提案者が負担する無償労働力（A）	事業の準備・調整	1026 14 h	14364	デザイン制作8h、企画打合4h、進捗管理2h
11	提案者が負担する無償機材等（B）	ガソリン代	20 7.5 km	150	そうふけ公民館往復2.5km×3人
12 無償労働力等換算金額			14514		
13 無償分を含む総事業費			42748		

番号 品目		映画20名 2回実施 ・ そうふけ公民館 ・ 牧の原交流センター	数量	単位	計	備考
1	人件費	講座及びプログラム作成	1026	15 h	15390	人件費 = ￥1026/h × 5h × 3人
2	報償費	外部講師謝礼・団体内講師謝礼	1000	15 h	15000	役員報酬 = ￥1000/h × 5h × 3人
3	旅費	外部講師交通費	0		0	
4	印刷製本費	チラシ・ポスター・講座プログラム	8000	1 式	8000	* チラシ制作@20×100、ポスター@300×20
5	保険料	傷害保険	0		0	年間まとめる
6	使用料	会場使用料	27000	1 式	27000	映画使用料
7	通信費	電話・FAX		0 式	0	年間まとめる
8	消耗品費	文具・インク・用紙・生理用品	0	0 式	0	
9	無償分を含めない合計額				65390	
10	提案者が負担する無償労働力（A）	事業の準備・調整	1026	16 h	16416	デザイン制作8h、企画打合4h、進捗管理4h
11	提案者が負担する無償機材等（B）	ガソリン代	20	120 km	2400	そうふけ公民館往復2.5km、牧の原交流センター往復4km、×3人
12	無償労働力等換算金額				18816	
13	無償分を含む総事業費				84206	

番号	品目	イオン啓発イベント（講師なし）	単価	数量	単位	計	備考
1	人件費	講座及びプログラム作成		1026	80 h	82080	人件費＝¥1026/h×8h×10人
2	報償費	外部講師謝礼・団体内講師謝礼		37000	1 式	37000	役員報酬＝¥1000/h×8h×4人、内部講師¥5000×1人
3	旅費	外部講師交通費		0	0 式	0	
4	印刷製本費	チラシ・ポスター・講座プログラム		13400	1 式	13400	* チラシ制作@20×200、ポスター@300×30、プログラム制作@10×40人
5	保険料	傷害保険		0		0	年間まとめる
6	使用料	会場使用料		22000	1 式	22000	イオンホール会場
7	通信費	電話・FAX			0 式	0	年間まとめる
8	消耗品費	文具・インク・用紙・生理用品		92000	1 式	92000	ナプキン・ショーツ@500×100人=50000、実験道具@500×40人=20000、文具¥5000、装飾品¥2000、アロマ材料費@500×30人=15000
9	無償分を含めない合計額					246480	
10	提案者が負担する無償労働力（A）	事業の準備・調整		1026	24 h	24624	デザイン制作8h、資料制作8h、企画打合4h、進捗管理4h
11	提案者が負担する無償機材等（B）	ガソリン代		20	120 km	2400	イオンホール往復12km×10人
12	無償労働力等換算金額					27024	
13	無償分を含む総事業費					273504	

番号	品目	イオン啓発イベント（講師あり）	単価	数量	単位	計	備考
1	人件費	講座及びプログラム作成		1026	80 h	82080	人件費＝ ¥1026/h×8h×10人
2	報償費	外部講師謝礼・団体内講師謝礼		67000	1 式	67000	役員報酬=¥1000/h×8h×4人、内部講師¥5000/日×1人、外部講師¥15000/日×2人
3	旅費	外部講師交通費		3000	2 人	6000	内部講師、外部講師
4	印刷製本費	チラシ・ポスター・講座プログラム		13400	1 式	13400	* チラシ制作@20×200、ポスター@300×30、プログラム制作@10×40人
5	保険料	傷害保険		0		0	年間まとめる
6	使用料	会場使用料		22000	1 式	22000	イオンホール会場
7	通信費	電話・FAX			0 式	0	年間まとめる
8	消耗品費	文具・インク・用紙・生理用品		92000	1 式	92000	ナプキン・ショーツ@500×100人=50000、実験道具@500×40人=20000、文具¥5000、装飾品¥2000、アロマ材料費@500×30人=15000
9	無償分を含めない合計額			198426		282480	
10	提案者が負担する無償労働力（A）	事業の準備・調整		1026	24 h	24624	デザイン制作8h、資料制作8h、企画打合4h、進捗管理4h
11	提案者が負担する無償機材等（B）	ガソリン代		20	120 km	2400	イオンホール往復12km×10人
12	無償労働力等換算金額					27024	
13	無償分を含む総事業費			198426		309504	

番号品目	個別相談	単価	数量	単位	計	備考
1 人件費	講座及びプログラム作成	1026	60	h	61560	人件費＝¥1026/h×5h×1人×12ヶ月
2 報償費	外部講師謝礼・団体内講師謝礼	1000	60	h	60000	役員報酬＝¥1000/h×5h×1人×12ヶ月
3 旅費	外部講師交通費	0	0		0	
4 印刷製本費	チラシ・ポスター・講座プログラム	20	200	式	4000	*チラシ制作@20
5 保険料	傷害保険	0	0		0	年間まとめる
6 使用料	会場使用料	0	0		0	
7 通信費	電話・FAX	0	0		0	年間まとめる
8 消耗品費	文具・インク・用紙・生理用品	5,500	1	式	5500	文具¥1000、インク代¥4000（cannon家庭用インク年間コストサイト参照）、用紙¥500
9 無償分を含めない合計額					131060	
10 提案者が負担する無償労働力（A）	事業の準備・調整	1026	72	h	73872	デザイン制作8h、資料制作8h、企画打合4h、進捗管理52h(1h×52週)
11 提案者が負担する無償機材等（B）	ガソリン代	20	11	km	220	新センター（駅前交流館の隣）往復11km
12 無償労働力等換算金額					74092	
13 無償分を含む総事業費					279244	